

難民食料支援学び語り合う会⑥ ご案内

主催：NPO 名古屋難民支援室、アジア・ボランティア・ネットワーク・東海、地域と協同の研究センター

協力：生活協同組合コープあいち 助成：かめのり財団

<緊急食料支援（仕分け発送作業は4回目の開催）の報告>

12月3日（土）41箱の支援物資を24世帯へ送りました。ボランティア参加は31名でした。今回は、難民の方々が特に望んでおられる米427kgを送ることができました。また、たくさん寄せられた浄財でハラル食品（イスラム教徒が問題なく食べることができるもの）を購入し送りました。初めての試みとして、食料品だけではなく、学び語り合う会で出された意見をもとに、メッセージカードを作るための文房具（色画用紙・色紙・カラーペン・のり・シール等）も同梱しました。作業後の交流では、「難民の方たちが何を貰ったら嬉しいのかを考えてみんなで協力して箱に詰めていくのがとても楽しかったです。」「難民の方たちは祖国で殺されるような状況で、日本に来られ今も生活が不安定であることを知り、自分が思っていた以上に迫害というものは恐ろしいと思いました。」「ハラル食品のことを始めて知りました。」などの感想が寄せられました。

後日、研究センターに、茶封筒が届き始めました。封筒の中には、色とりどりのカードが入っていました。難民の方たちから、食料品を支援してくださった方や名古屋難民支援室へのお礼、そして同じ難民として地域に暮らす人たちへの励ましのメッセージです。カードは、お送りした材料や文房具で作ってくださった手作りのもので、折り紙でつくられたクリスマスツリーやかわいい絵が描かれています。ていねいに日本語でお礼が綴られたものもありました。直接お会いすることはなくても、こうしてメッセージのやり取りをすることで、同じ地域に暮らす私たちは確かに繋がっているということをしかりと感ずることができました。届いた文房具を見て子どもさん達がとても喜び、音声のメッセージも届いたそうです。同じつらい立場の難民の方たちへ向けて「ひとりじゃないよ」と呼びかけるメッセージに感動しました。食料品をお届けするのも大事だけれど、心の栄養も大事だということをおぼろげに思いました。

<難民食料支援学び語り合う会⑥ ご案内>

2月18日（土）10時～12時



テーマ：難民の方々とのメッセージのやりとりを通して（仮題）

東海地域に暮らしている難民の方々の現状・想いをお聞きします。

会場 コープあいち生協生活文化会館2階会議室1（名古屋市千種区稲舟通1-39） 定員 24名
" 豊橋生協会館 会議室（豊橋市牟呂町松崎15） 定員 35名
オンライン 定員 なし
※参加費 無料 食料支援の食料品・現金の寄付を募ります。

※お申込み・お問い合わせ先（地域と協同の研究センター 平日10時～17時）

電話 052-781-8280 FAX 052-781-8315

e-mail AEL03416@nifty.com <http://www.tiiki-kyodo.net/>

右上のQRコードからもお申し込みいただけます。お申し込みの際 以下のことをお伝えください。

名前・所属（あれば）・連絡先

参加方法 会場参加（名古屋・豊橋） オンライン参加（オンライン参加の方はメールアドレス）